

# 後藤まさみ

党川崎区くらし福祉相談室長



## PROFILE

### 後藤まさみプロフィール

東門前在住。1966年横浜市生まれ。法政女子高、法政大学社会学部卒業。中央労働金庫、神奈川県建設連合国保組合、塾講師で勤務。労金労組専従書記、青年部、婦人部役員歴任。2015年4月県会議員選挙に出馬。同年9月より党国会議員団秘書。現在川崎区くらし福祉相談室長、川崎医療生協大師中央支部運営委員。家族は母。趣味はフラダンス。

## Message

「保育園に入れず働き続けられない」「年金暮らしで家賃の支払いがきつい」「消費税10%は止めて」「戦争は絶対にダメ!9条を守って」「弱い者が安心して暮らせる町にして!」。まちを歩くと多くの方から切実な声が寄せられます。「うちにはお金がないから…」子どもの頃から夢をあきらめている。そんな思いを子どもたちにさせてよいのでしょうか。

働く人の息吹があふれ人情味豊かなまち、かわさき。いつまでもこのまちで一人一人が大切にされ健康で心豊かに暮らしていきたい。大切な税金の使い道をくらしや福祉・教育・医療・防災を優先する市政にきりかえていくことで、人間として当たり前の願いを実現する可能性が大きく広がります。

母子家庭で育った私は、様々な制度や社会的権利などに支えられて成長することができました。こうした権利を守り、さらに発展させ、これまでの経験をいかしながら、みなさんと力あわせ子どもから高齢者まで誰もが安心して住めるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

(大師公園)

## ごあいさつ

日本共産党川崎区  
福祉・くらし相談室長

後藤まさみ



## 後藤まさみのお約束

- 子どもの医療費を通院も所得制限なしで中学卒業まで無料に
- 認可保育園増設で待機児童ゼロ
- 私立幼稚園の保育料補助増額と入園料補助の創設
- 35人以下学級の拡大
- 介護保険料・利用料の軽減
- 住宅リフォーム助成制度の実現
- 民間借り上げ式も含めた市営住宅増設
- 住宅街・石油コンビナート上空の羽田飛行ルート計画は撤回を
- 憲法9条を守り、憲法が生きる市政を



## 持ち前の明るさとガッツ發揮して

衆議院議員 **はたの 君枝**

後藤まさみさんは、私の国会秘書として国民要求の実現と一緒に取り組んできました。就学援助の入学準備金の前倒し支給の実現、ヘイトスピーチ解消法成立、建設アスベスト問題など、市民の声を直接つかみ、質問の準備に取り組む姿はとても頼もしく思えました。また、地元の地域でも、持ち前の明るさとガッツを發揮して草の根の要求実現の先頭に立っています。女性政治家として、今後の活躍に大いに期待しています。



## 医療・介護制度の改善を共に

医師 **原 弘明**

後藤まさみさんは大学を卒業後、建設労働組合などで働き、その後、はたの君枝衆議院議員の国会秘書としてヘイトスピーチ解消法、奨学援助金の前倒し支給実現に努力してきました。ご自身のお母様の入院、介護を通じて、私たちと医療・介護制度の改善にも努力しています。今後、高齢者も子どもの数も増える川崎市で、子育て・保育・住宅・医療・介護など住みやすいまちのモデルを後藤まさみさんとともにつくっていきましょう。



## “かわさき大好き”といえる川崎市政を

学習教室

エチュード代表 **知久 美子 (浜町在住)**

横浜で家庭教師をやっていた時の教え子の一人が小学生のまさみさんでした。そんな縁でまさみさんは今、エチュードで週一回小学生たちと机を並べています。お母さんたちが安心して子育てできるまち“かわさき”こども達が輝きながら学べるまち“かわさき”高齢者が楽しく生活できるまち“かわさき”川崎で生活するすべての人たちが“かわさき大好き”といえるような川崎市政をつくるために、まさみさんの活躍を願っています。もちろん私も、周りのみなさんの力もお借りして全力で応援します。

後藤まさみさんに  
期待します



## 女性の声が届く川崎市政を

新日本婦人の会川崎南支部内後援会  
柏熊 **由美 (東門前在住)**

後藤まさみさんは、高齢のお母さんの介護もしながら、何事にも全力投球する頑張り屋さんです。子育ても老後も安心して暮らせる川崎をめざして、後藤さんのパワーが川崎市政の改革にどうしても必要です。川崎区の中で、女性の声が届く川崎市政をめざし、私たち新婦人の会員でもある後藤まさみさんを全力で応援していきます。



## いのちと暮らしを守る抜群の実行力

羽田増便による低空飛行に反対する川崎区民の会  
代表世話人 **橘 孝 (田町在住)**

住民の生活を犠牲にして、大企業・航空会社の利益を最優先し、住宅街・コンビナート上空に飛行機を飛ばす危険な計画を撤回させる運動を、一貫して私たちとともにすすめてきた後藤まさみさん。いつでもどこでも町の声に耳を傾け、いのちと暮らしを守る抜群の実行力を私たちは目の当たりにしてきました。後藤さんのご活躍を期待しています。



## 住宅リフォーム助成制度の創設、期待しています

神連連 主婦協議会会長 **鈴木 啓子**

後藤さんは、建設国保組合で働く仲間のくらしと健康を守る仕事をしていました。「優れた技術・技能を持ちながら、休みも少なく、全産業の平均年収を下回るのをおかしい！」と建設で働く仲間の要求を実現できる人です。公契約制度を発展させ、低賃金に苦しむ下請け業者や労働者のために力を尽くし、住宅リフォーム助成制度の創設にむけてがんばってくれています。防災対策として効果が高い木造住宅の耐震化工事の補助と範囲の拡充を期待しています。明るい笑顔で正義感の強い後藤まさみさん、建設で働く仲間と家族が安心して暮らせる社会を一緒に作りましょう。

## 後藤まさみさんを推薦します！

岩田 **サヨ子** 元市会議員

榎本 **昭二** 田町在住

尾関 **廣美** 川崎区革新懇代表委員・サ・のんベース代表

鍛冶 **みち** 川崎区革新懇事務局長・レイラ元社長

勝 **哲也** 川崎建設労連書記長

川口 **彩子** 弁護士

菊田 **由佳** 藤崎在住

渋谷 **正行** JFE京浜地区労働者

菅野 **充** 東門前在住

西馬場 **学** 川崎中央民商会長

野村 **澄夫** 神奈川土建川崎支部執行委員長

広瀬 **順二** 川崎建築組合組長

福島 **正信** いすゞ労働者OB

地域の願い実現にとりくむ

母子家庭に育つ

1966年横浜市生まれ。父が3歳の時に亡くなり母は日コリアンの方が経営する飲食店の事務をして育ててくれました。学童保育がなく、同じ県営住宅に住む友達の家で母の帰りを待ちました。自分の意見をなかなか言えない引っ込み思案な性格でした。音楽が好きでピアノを習っていました。



後藤まさみと母

法政女子高時代

「女性である前に人間であれ」という校風の下でのびのび過ごしました。「昭和の歴史」の授業で日本の侵略戦争の歴史を学び、広島への被爆者の方との出会いが生き方を決めるきっかけに…。吹奏楽部でアルトサクソフーンを担当し仲間と一つの音楽を奏でる魅力に取りつかれ3年間部活動に明け暮れました。いまでもかけがえない友人たちです。



吹奏楽部  
右から二人目が後藤まさみ

法政大学時代

法政大学社会学部時代は八王子の山の中にある多摩キャンパスに通いました。のどかな環境の中で近現代史を学ぶサークルを立ち上げ友人と学びを深めながら学生自治会の民主化を進める活動に取り組みました。20歳の時に平和を守りたい、自分らしく主体的に生きたいと日本共産党に入党。奨学金を借りながら大学を卒業しました。

25年間、働きながら学んだこと

大学卒業後は「働く者の金融機関」労働金庫に入庫。先輩方から厳しくも優しい指導を受けながら、社会人としての知識や常識を身につけました。青年部や婦人部では「年休を取ろう、生休をとろう」と仲間と職場環境改善に取り組み、また労組専従書記も務めました。39歳で県建設連合会保組合に転職。弱者を切り捨てる社会保障制度や組合員の多くが「生活できるまともな賃金」が支払われておらず後継者も減っている実態などを目の当たりにし、組合員の命や生活を守るためにも政治を変えなければという思いがますます強くなりました。



労働金庫の時代

県議に初挑戦

2015年4月の統一地方選挙で県会に挑戦するも当選にはならず。同年、はたの君枝衆議院議員の秘書に。弱い者いじめの政治に苦しむ市民のみなさんから、相談事を毎日のようにうかがいながら、悩みを抱えるみなさんに寄り添った仕事がしたいとの気持ちに突き動かされました。「ヘイトスピーチ解消法」制定、「就学援助金の前倒し支給」実現の質問準備に関わりながら、粘り強く追及していくこと、あきらめてはいけないことを学びました。



ヘイトスピーチは許さない

column



82歳の母が昨年大腿骨骨折をし手術。施設でお世話になっていました。回復し横浜の自宅に



母がぬい絵を完成

横浜に住む高齢の母の介護をしながら、地域のみなさんから寄せられた相談や街の改善要望に応えるために市議団・県議団と連携しながら解決にむけた取り組みを進めています。みなさんの声を市政へまっすぐに届け、願い実現にむけ全力でがんばります。

危険な羽田新飛行ルートは撤回を!

国は2020年までに羽田空港発着便増便に伴い、殿町地域住宅街・石油コンビナート地帯上空を低空飛行する新飛行ルート計画。墜落事故や落下物、騒音の被害、資産価値の低下など住民のみなさんから不安の声が寄せられています。石油コンビナート地帯には有毒ガスの取り扱いもあり、1970年に国は市に対し「原則的に石油コンビナート上空は飛ばない」という約束も交わしています。計画は今まで



地域のみなさんと署名行動

守られてきた約束をも反故にするものです。区内では反対する会が立ち上がり署名活動も行われています。命や生活を後回しにする危険な計画を撤回させることを住民のみなさんと力を合わせてまいります。

安心・安全のまちづくりへ —生活道路の改善

「横断歩道や停止線が消えてしまって、赤信号でも車のドライバーがうっかりオーバーラン…。歩行者信号が青になっても怖くて渡れない」…。

その後、片柳すすむ市議や県議団と連携し「小田1丁目」「旭小前」「大島4丁目」の交差点の横断歩道や停止線の改善が実現しました。



消えた横断歩道を現地視察

みんなの公園を快適に — 大師公園

緑豊かな大師公園は地域のみなさんの憩いの場所。親子連れなどでお隣の東京からも遊びに来ます。利用する地域の方から「草が伸びている」「トイレ洗面台が壊れている」「木のベンチや太鼓橋が腐ってきた」子どもたちからも「遊具下に穴が開いている」「雨の日の後は鉄棒の下に水たまりができて遊べない」など改善要望が出されました。地域のみなさんとウォッチングを行い、担当者へお伝えし改善を進めました。



公園事務所に改善を要望

地域のみなさんとともに



国政でも 「安倍政治変えたい」 あなたの願いを こんどは共産党へ

戦争NO、憲法9条守る ぶれない党です

戦前から命をかけて戦争反対を貫いてきた政党です。平和が危ない、安倍政治を許さない…市民と野党の共闘を何より大事にし、真剣に取り組んできました。

市民と野党の共闘のかなめ 消費税10%、ゆるさない

日本共産党が伸びれば、本気の野党共闘が前に進みます。本来の力を発揮します。安倍政権がこんどは9条改憲の国会発議、消費税10%増税をねらっています。日本共産党を、大きく伸ばしてください。



参院 神奈川 あさか 由香 (浅賀ゆか)



参院 比例 しいば かずゆき (椎葉寿幸)